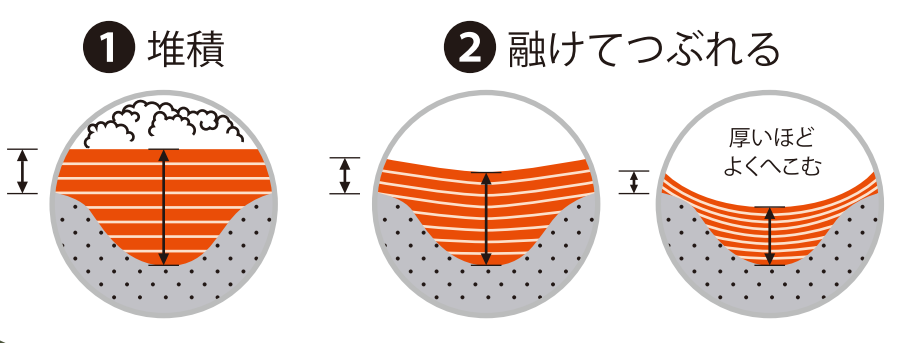


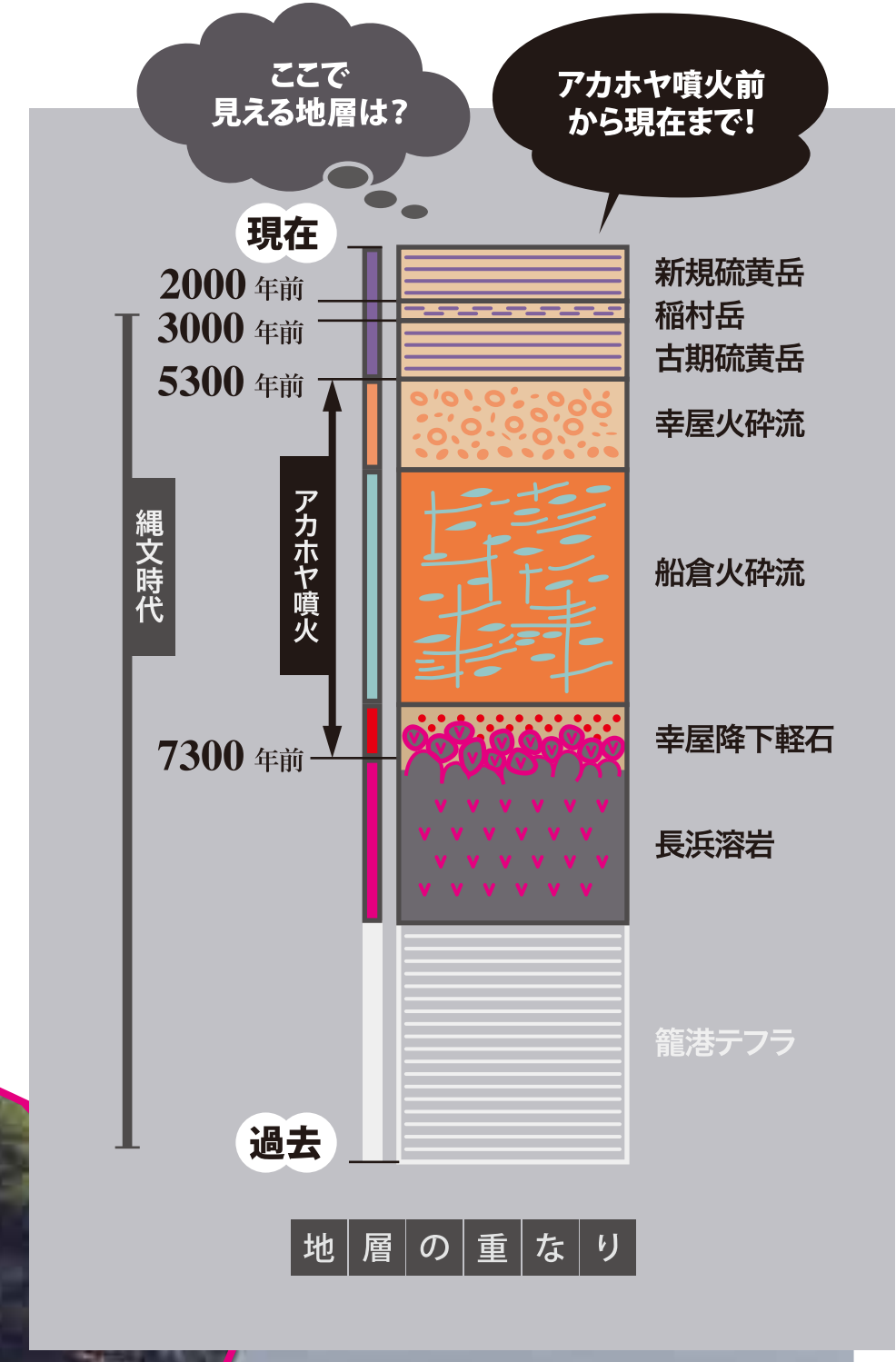
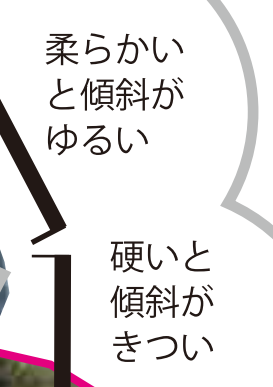
**注目** この地層は、別のジオサイト「平家城露頭」で近づいて見られるよ。



**溶結** 火砕流が堆積してできた火山灰や軽石などからなる地層が、自身の熱によって融け、溶岩のように固まってしまうことがあります。これを「溶結」とよびます。溶結が起こると、地層から火山ガスや空気が抜け、自重によって地層が潰れ薄くなってゆきます。

**地形と侵食の関係**

私たちが見ている地形は、長い年月をかけて岩や地層が水などのたらしによって侵食されてきたもの。侵食に対して弱い柔らかい地層はゆるやかな斜面を、硬い岩は垂直な崖をつくっています。



**注目** この地層はブロック状に剥がれて落ちるよ!

**しまのくらし**

この石は、硫黄島の石材として多く使われているよ。墓石や熊野神社の古い彫刻をチェック!

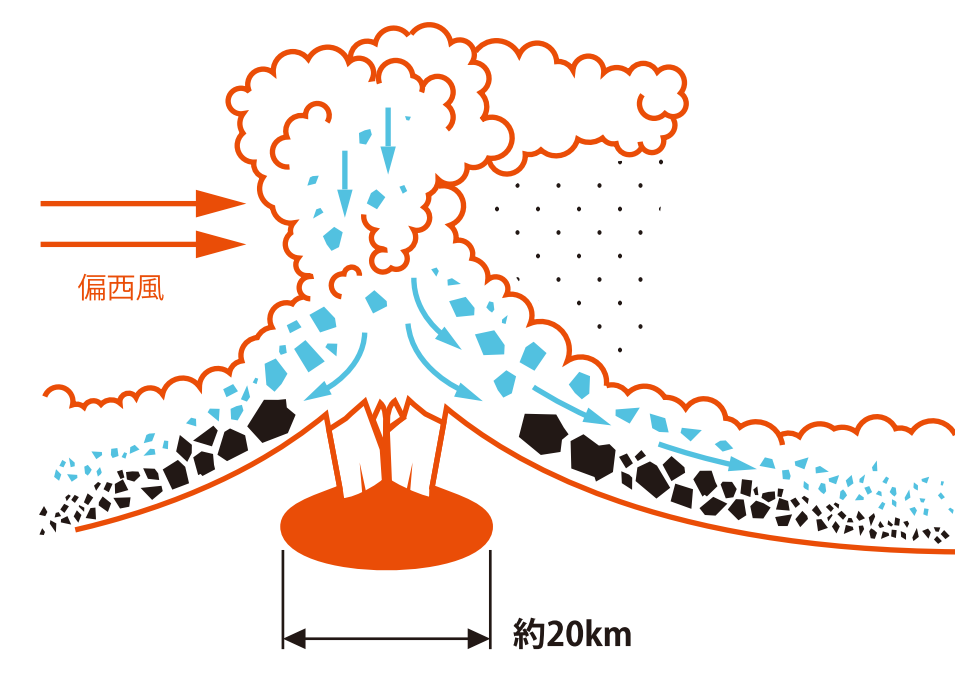


**鬼界カルデラの噴火と堆積物**



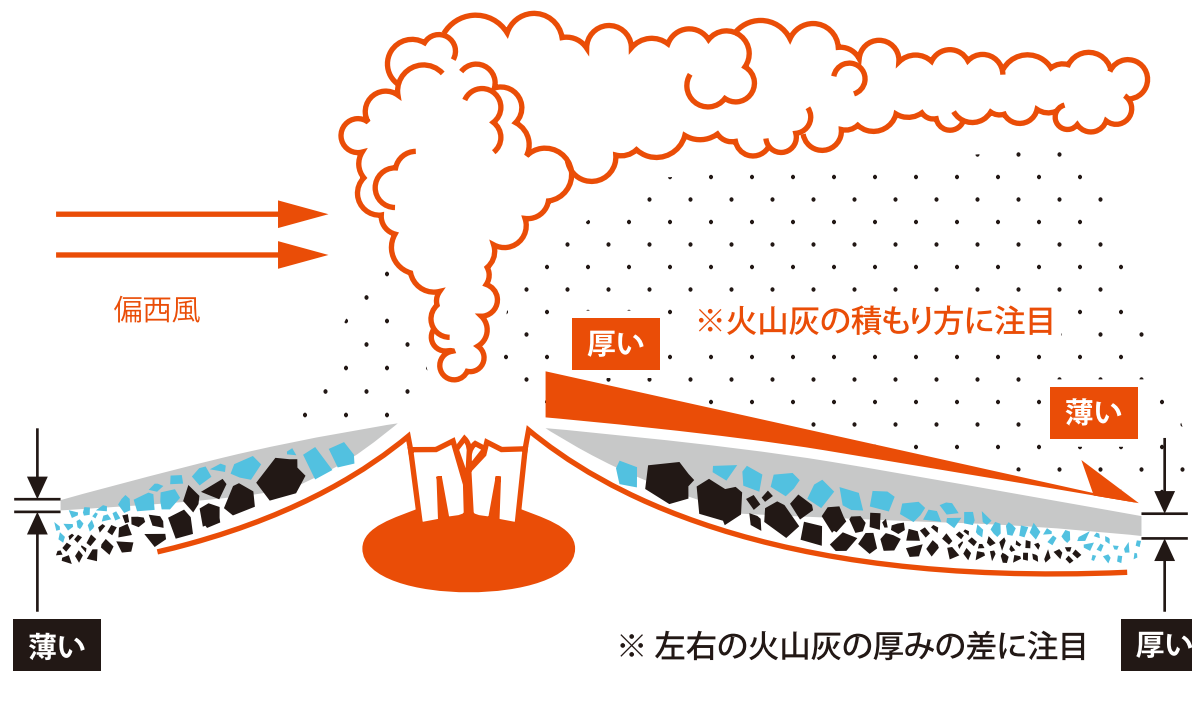
**1 プリニー式噴火**  
 巨大な音とともに軽石が高く吹き上がり、飛散します。  
 小さな軽石ほど遠くまで飛散します。このとき降下したのが「幸屋降下軽石」です。  
 噴煙柱が形成されます。火山ガスとともに火山灰が立ち上り、上昇します。

**2 火砕流**



高温の火山ガスとともに吹き上げられた火山灰や軽石は、やがて落下します。  
 それらが渾然一体となった火砕流が時速 100 キロ以上の速度で全方位に広がってゆきます。ここでは、「船倉火砕流」「幸屋火砕流」として堆積しました。

**3 火山灰**

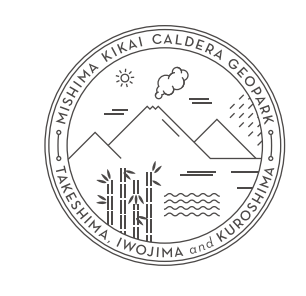


火砕流が静まった後にも、巻き上げられた火山灰は降り積もり続けます。  
 鬼界カルデラから噴出した火山灰は、偏西風に乗って東北地方にまで届き、「アカホヤ火山灰」と呼ばれています。



**大浦港 「高温の火砕流の痕跡」**

ここでは、鬼界カルデラの大噴火の前から、噴火後にかけての出来事を読み取ることができます。



三島村・鬼界カルデラジオパーク  
 MISHIMA KIKAI CALDERA GEOPARK